

07

10.29 (土)

13:10~14:40

神学部

こはら かつひろ

小原 克博 教授

## 戦争とキリスト教

—ウクライナ危機を考えるために

### メッセージ

過去と現在の戦争のリアルを結びつけることによって、戦争や平和に対する理解を深めていきましょう。

### 概要

本講義は、戦争とキリスト教の歴史を振り返りながら、現代の戦争や紛争、特にロシアによるウクライナ侵攻によって引き起こされた問題を多面的に考えるための材料を提供します。

ウクライナでの戦争が始まって以来、私たちはその様子を大量の映像を通じて日々刻々と知ることができます。それはインターネットやスマートフォンなどが可能にした時代の恩恵と言えますが、大量の情報をただ消費し、茶の間の戦争談義に終始せずに、戦争のリアルをより多面的に（あるいは自分たちの事柄として）とらえていくためには、戦争と人間の関係を深く洞察していく必要があります。

本講義では、キリスト教が戦争とどのように関わってきたのかに着目すると共に、キリスト教主義を掲げてきた同志社が戦時下において戦争とどのように向き合ってきたのかについて概説し、近代日本における戦争の実相にも迫っていきます。